



2024年 5月 7日
第166号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第24号

「駅業務執行体制の再構築」(駅輸送業務)に関する申し入れ 団体交渉② 川崎駅・藤沢駅①

1. 乗降終了合図の省略ができる根拠を示すこと。

【会社回答】車掌用ITVの整備により車掌の視認性が確保されることから、お客さまのご利用状況等を踏まえ、体制の見直しを行うものである。

2. 乗降終了合図の省略によって安全レベル及びサービスレベルが低下しない根拠を示すこと。

【会社回答】車掌用ITVの整備により車掌の視認性が確保されることから、お客さまのご利用状況等を踏まえ、体制の見直しを行うものである。なお、必要な対応は行っていく考えである。

1項・2項同時議論!

組合	会社
乗降数で判断しているのか。	その通り。
車掌用ITVの立ち合いについて、視認性含めてドア閉め等担保できているのか。	関係箇所で行っている。
安全・サービスレベルが維持できる根拠は。	<u>混雑時間帯については、東神奈川駅と同様に立ち番や放送を行う考えである。</u> ホーム立ち番の作業する場所は変わるが、終電時の乗降終了表示は掲出する。(平塚終・品川終)
乗務員からの声で「ドア閉扉のタイミングがとりづらい」との声が出ているが認識しているか。	自身の経験上、放送と度ある閉めるタイミングが合わないこともある。一呼吸おいたドア扱いを心掛けてほしい。
鎌倉駅の事象でもあったが、今まで二人の目で見えていたものが立ち番省略によって、一人で見えるようになった。それによって一呼吸おくことで、タイミングが取れなくなっている。なぜ支社はそのような状況であることも知りつつ行うのか。	<u>必要な対応は行っていく。混雑時は立つ、遅延時も放送を行うことで安全レベルは下げない。</u>
これまで利用する人が増えている中で、立ち番がいて安全を保てた。利用者の安全性を高めていくべきではないか。混雑時は終日ではなく必要な時に立つ認識であるがその点は。	状況を鑑み、管理者の指示のもと行っている。
必要に応じて日中帯に立ち番を行うという認識はないのか。	イベントのある駅などもあるが、あくまでも今は朝夕時間帯にボリュームがある。4月1日以降出さなくなったからノーマークではなく、 <u>日勤を付けるなど状況に応じて判断する。</u> 会社一体となって見ていく。
立ち番の省略にあたり、急遽立ち番をする際は教育を受けた社員が行うのか。	従来行っていた社員が行う事となるが、担務変更等があった際はその都度職場でのOJTを行って行く考えである。

3. 乗降終了合図の省略に伴い、変更される駅設備について示すこと。

【会社回答】必要な設備については整備していく。

6. 車掌用ITVはすべての箇所からホーム全体を見渡せる仕様とすること。

【会社回答】現時点において、車掌用ITVを改修する計画はない。

3項・6項同時議論!

組合	会社
具体的に変わる設備等はあるのか。	車掌用ITVの整備、発車ベル、テレビについては既存のものと同様のものがある。
ITV6は全体を見渡せるものか。	動かせるものではなく固定式になる。例えば藤沢下りは田の字の4連15両用、肉眼で見えないところのみを映す。10両位置だと画面数は3つ。
両数が変わった時に、前の映さないところを映してほしい。積み残し防止の観点から。	6項の回答でもあるが、改修の考えはない。目的はドア閉扉時の視認性。画角からすると厳しいのが現実。
テレビは既存と新規、両方にあるのか。	基本は車掌の近く。共用の場合は少し離れた箇所にあるところもある。関係箇所には教育資料等で周知する。

その③へ続く